

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【公開番号】特開2015-178902(P2015-178902A)

【公開日】平成27年10月8日(2015.10.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-063

【出願番号】特願2015-50136(P2015-50136)

【国際特許分類】

F 16 L 59/02 (2006.01)

H 05 K 7/20 (2006.01)

【F I】

F 16 L 59/02

H 05 K 7/20 Y

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱分離体であって、

その第1の位置から反対側の第2の位置までの長さに沿って延在する空間領域内に剛性熱分離セクションを備え、

前記剛性熱分離セクションは、前記第1の位置から前記第2の位置まで延在する蛇行中実壁の熱伝導経路を含んでおり、

前記蛇行中実壁の熱伝導経路は、前記空間領域の前記長さに比べて長く、

前記蛇行中実壁の熱伝導経路は、順行セクションと、該順行セクションに対する逆行セクションと、を含み、

前記順行セクションおよび前記逆行セクションが、前記第1の位置の基準開始点から前記第2の位置の基準終了点までの経路に関しての後方転換を提供し、

前記剛性熱分離セクションの周囲に延在するスリーブをさらに備え、前記スリーブは、前記剛性熱分離セクションの片側から前記長さに亘って少なくとも部分的に延在する、熱分離体。

【請求項2】

熱分離体であって、

その第1の位置から反対側の第2の位置までの長さに沿って延在する空間領域内に剛性熱分離セクションを備え、

前記剛性熱分離セクションは、前記第1の位置から前記第2の位置まで延在する蛇行中実壁の熱伝導経路を含んでおり、

前記蛇行中実壁の熱伝導経路は、前記空間領域の前記長さに比べて長く、

前記蛇行中実壁の熱伝導経路は、順行セクションと、該順行セクションに対する逆行セクションと、を含み、

前記順行セクションおよび前記逆行セクションが、前記第1の位置の基準開始点から前記第2の位置の基準終了点までの経路に関しての後方転換を提供し、

前記剛性熱分離セクションの周囲に前記長さに亘って部分的に延在するスリーブをさらに備え、前記スリーブは、前記剛性熱分離セクションの一方の側の連結ベース部から、前

記剛性熱分離セクションの前記一方の側から遠位の自由端へと延在する、熱分離体。